

長崎バスグループは
持続可能な社会の実現に向けて
積極的にSDGsに取り組んでいきます



SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年に国連で定められた全世界共通の目標です。17個の目標で構成されており、これらを達成することで2030年までに“誰一人取り残さない”より良い世界を目指します。

長崎バスグループは、これからもさまざまな事業を通じ、SDGsに掲げられる社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。

長崎バスグループ CSRレポート2022

長崎バス安全教育センター
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

長崎バスグループCSRサイト
<https://csr.nagasaki-bus.co.jp>

2023年2月発行



〈表紙の写真〉

「かもめ」 ラッピングバス運行

ラッピングバスのデザインは、かもめと同じく水戸岡鋭治氏によるもので、新幹線車体の白地に赤いライン、三つの輪にカモメが飛行する姿を表したシンボルマークがよくわかるものとなっています。西九州新幹線開業を盛り上げるべく市内を走行しました。



NAGASAKI BUS GROUP

CSR

REPORT 2022

人と人街と街を結ぶ



毎日の暮らしとともに
長崎バスグループ

With the Community

地域とともにこれからも

社長あいさつ



代表取締役社長
嶋崎真英

昨年9月23日に、長年の悲願であった、西九州新幹線が開業を迎えました。九州経済調査協会が発表した、昨年11月の宿泊稼働指数全国トップは佐賀県で、長崎県は4位に入りましたが、両県に多くの観光客がお越しになったのは、全国旅行支援に加え新幹線開業効果のあらわれと存じます。さらに、新幹線開業への期待感を背景に、様々な大型開発が進められており、長崎の発展とともに活気を呼び込む、まさに100年に一度の好機が訪れているものと存じます。

他方、在来線特急と接続する対面乗換方式が採用された西九州新幹線は、日本一短い新幹線とも言われています。新幹線の利便性と地域経済への波及効果を大いに享受し、長崎の街に活気を呼び込むためには、関西圏からの直通便が不可欠と存じますので、全線フル規格化の一日も早い実現が期待されることです。

新幹線開業という明るい話題がありました一方で、新型コロナウイルスの感染拡大や燃料価格の高騰、そして慢性的な運転者不足など、長崎バスグループの基盤であるバス事業をとりまく経営環境は非常に厳しい状況が続いています。特に、長期化するコロナ禍は、テレワークやWeb会議の普及など、移動需要そのものを減少させました。

今年、日本においてバス事業が開始され120周年の節目にあたりますが、持続可能な交通体系を築き、次の世代に引き継いでいくことは、私たち交通事業者の社会的責任と存じます。また、地域の皆様の生活を下支えする路線バス網の維持は、公共交通の多面的な効果(クロスセクター効果)の観点からも、必要不可欠と存じます。

昨年4月より長崎バスは県営バスと、一部路線において共同経営を開始いたしました。課題解決へ向けた大きな一歩になるものと存じます。今後は、さらなる生産性と顧客価値の向上を実現し、発展する長崎の街に適した交通機関へと進化を果たしてまいります。そして、長崎バスグループの様々な事業を通じ、地域社会に貢献してまいりたいと存じます。

地域社会の一員として
活気あふれる街づくりと
発展に貢献する



長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

経営理念

- 安全と安心** 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。
- 感謝のこころ** お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。
- 仕事への誇り** 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。
- 地域とともに** 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。



Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



長崎市域乗合バス事業共同経営計画スタート

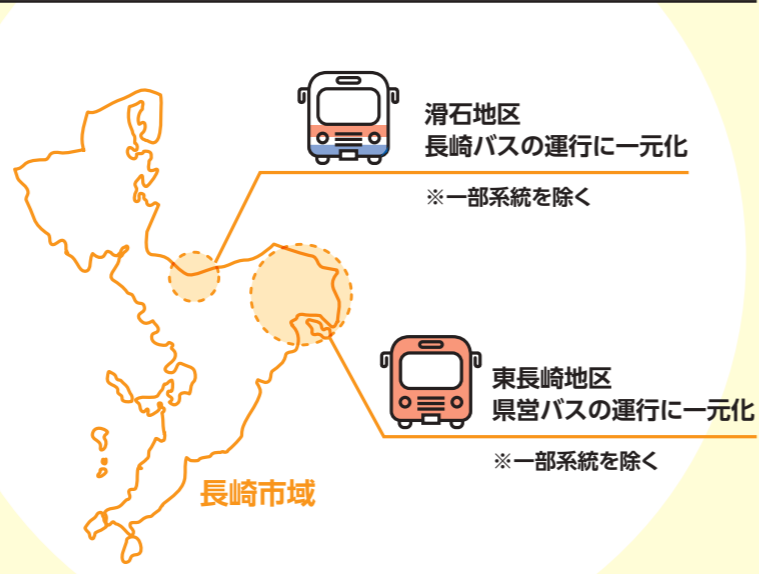
長崎バス・県営バスでは、持続可能な路線バス網維持のため、令和4年4月に滑石地区・東長崎地区の重複区間における運行事業者の一元化に向けた共同経営を開始。10月には、長崎市地域公共交通利便増進実施計画の内容を踏まえ、東部地区の長崎バス系統を廃止、地域線はコミュニティー交通に転換するなど、関係する内容の一部を改定し、路線再編を実施しました。

尚、これら長崎バスの東長崎地区路線廃止によって、東長崎営業所は閉所となりました。

一方、今回の改定では、長崎市中心部の街づくりの進展を踏まえ、回遊性の向上を目的とした新規路線の共同運行にも、合わせて取り組みました。

具体的には、長崎バスと県営バスの共同で、ココウォーク茂里町から長崎駅、市内中心部を結ぶ、「まちなか周遊バス」を運行開始。お買い物や行政施設に移動の際、便利にご利用いただけます。

長崎バスは今後も、県営バス・長崎市や地域の皆様と一体となり、持続可能な路線バス網の構築を目指してまいります。



まちなか周遊バス
NAGASAKI CITY LOOP BUS

長崎バスと県営バスの共同運行

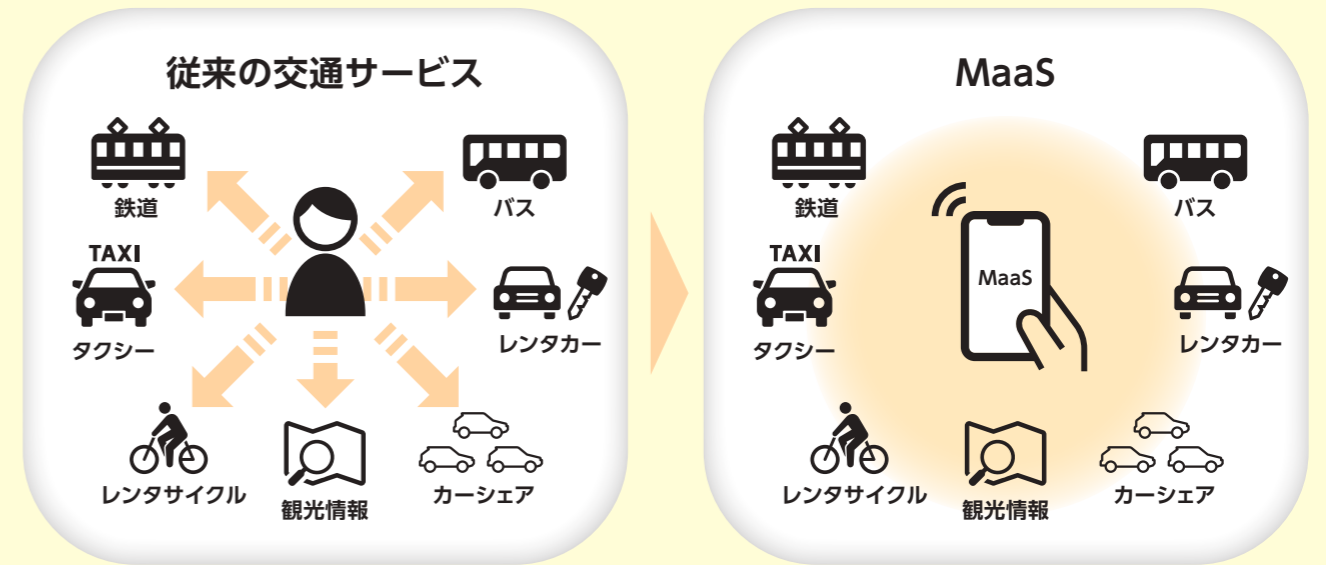
運賃 FARE
大人 160円
小人 80円

全国相互利用交通系ICカードご利用できます



MaaS運用開始(「my route」「STROCAL」)

MaaS(マース:Mobility as a Service)とは、スマートフォン等を活用し、1つのアプリで、目的地まで複数の移動手段(鉄道、バス、タクシー、カーシェア等)を組み合わせた、最適な経路検索や観光情報の取得、予約・決済等が可能なサービスです。今後も本取り組みを通して、長崎県内各地域への周遊促進による県全体の経済活性化や、地域交通の利便性向上に取り組んでまいります。



ながさき観光ルートバス(愛称：ハートストーン号)で効率良く観光

「ながさき観光ルートバス」は、長崎市内の人気観光地を効率良く移動していただけるよう、主要観光地を循環しています。観光客や県民の方々に、広く親んでいただくために愛称を募集。全国868件の応募から「ハートストーン号」が選ばれました。令和4年9月23日、西九州新幹線開業の日に合わせて命名式を執り行い、同時に長崎駅新設停留所へのルートや標柱デザインの変更も行いました。



ステッカー



島鉄鉄道 新幹線開業に関連した事業の展開

島原鉄道(株)では、西九州新幹線の開業効果を島原半島へ波及するために、観光列車「しまてつカフェトレイン」への専用ラッピング施工、サイクリスト向けの専用列車「サイクルトレイン」の運行、加えて、JR九州及び松浦鉄道と連携した、県内を縦断しながら周遊できる「長崎スローラインきっぷ」の発売など、西九州新幹線開業に向けて様々な準備を行ってきました。

また、西九州新幹線と九州新幹線の間に位置する立地を活用し、フェリー会社3社と連携。対岸の町と諫早を繋ぐ「雲仙・有明スローラインきっぷ」を発売するなど、福岡・熊本からの広域周遊ルートの形成にも取り組んでいます。



各種資格取得推奨で「おもてなし」推進

～長崎コンシェルジュ・ホテルレストラン検定・ホテルビジネス検定等～

長崎バスグループ ホテル・旅館事業においては、様々な面で「おもてなし」の充実を図り、お客様に快適な滞在と満足いただけるサービスを提供しています。「長崎コンシェルジュ」をはじめ各種認定資格取得の推奨、地元食材をふんだんに使用した食の提供、新型コロナウイルス感染対策の徹底した対応にも積極的に取り組んでいます。

また、「長崎県総おもてなし運動」から「長崎県総おもてなし宣言」への名称改定に伴い、着用ワッペンも変更。観光客を「笑顔にさせる対応」を目指し、「長崎県総おもてなし宣言」を展開中です。

※長崎コンシェルジュ：県内の宿泊施設において、お客様が快適な滞在時間を過ごし満足いただけるサービスを提供するとともに、長崎県ならではの価値や魅力を伝えることができる、県認定のプロフェッショナル人材。



長崎県総おもてなし宣言
ワッペン

Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



長崎バス観光 実証運行にて地域観光地の誘客促進 ～観光庁の「地域一体となった観光地の再生・観光サービス高付加価値化事業」参画～

長崎空港と雲仙間を結ぶ新たな交通手段



雲仙地獄

観光庁が実施している「地域一体となった観光地の再生・観光サービス高付加価値化事業」を活用した実証運行として、雲仙市・雲仙観光局の協力のもと、「湯けむりスーパーライナー」を運行しました。長崎空港から小浜温泉まで75分、雲仙温泉まで100分で到着。直行便ならではのアクセスの良さと利便性を、ご体感いただきました。



孔子廟変面ショー&鍋冠山からの夜景



孔子廟での変面ショー

鍋冠山からの夜景

長崎観光でも人気の高い、孔子廟変面ショーと鍋冠山夜景をめぐるツアーを実証運行。変面とは、中国四川省の伝統芸能「川劇」の中で、役者が舞踊しながら「仮面」を瞬時に変える技巧であり、中国の国家機密ともいわれています。

また、地元では「なべかぶりやま」の呼び名で親しまれている「鍋冠山」は、公園内の展望台から、美しい長崎港の絶景を一望できます。お客様には長崎で1、2を争う眺めをご堪能いただきました。

長崎大くんち展でPR活動

令和4年10月7日～10月10日のイベント期間中、出島メッセ長崎内に長崎バスグループのブースを設け、PR活動を行いました。その成果もあって、ハートストーン号には、4日間で約1,300名のお客様がご乗車されました。



五島自動車(五島タクシー) タクシーによる快適な観光

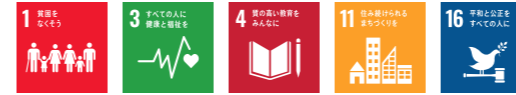
内装・外装の高級感や車内スペースの広さ、収納性のすべてにおいて最上級とされるミニバンをタクシーとして採用しました。ビジネスから観光・レジャーまで、ラグジュアリーな移動空間を提供いたします。



Community

地域社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



児童向けバス教室開催・ 社会科見学対応

長崎バス安全教育センター及び各営業所では、バスのご利用方法や乗車時のマナー、交通安全への理解を深めていただくため、幼稚園や小学校、学童保育等の子どもたちを対象に、社会科見学対応やバス教室を開催しています。続くコロナ禍の中、開催が出来ない時期がありましたが、多くのお問い合わせをいただいております。今後もバスという乗り物を、より身近な存在として感じて頂けるよう活動を継続してまいります。



長崎クスノキプロジェクトへ協賛 平和を願うラッピングバス走行

長崎市は、平和を願う活動の一環として、被爆樹木の保全・保護活動を行っています。この「長崎クスノキプロジェクト」では、「平和のバス」として車体デザインを募集。全国の小学生から100点を超える応募がありました。長崎自動車(株)はこの活動に協賛し、選定された2作品を松ヶ枝営業所1665号にラッピングしました。平和を願う想いを乗せた、世界で一台だけの「平和のバス」が長崎の街を走ります。
(運行期間:令和4年12月~令和5年3月)



方向幕でヴェルカを応援

「B2長崎ヴェルカ ホームゲーム」開催に伴い、ココウォーク茂里町及び長崎駅~長崎県立総合体育館(油木町)間にて、路線バスの直行臨時便を運行。方向幕にはチームロゴ、経由幕には応援メッセージを表示し開催を盛り上げました。



みらい長崎ココウォーク 行政サービス普及への協力 (マイナンバーカード出張申請受付の実施)

みらい長崎ココウォークでは、「マイナンバーカード出張申請受付」が実施され、期間中は多くのお客様がご来場されました。今後も、行政サービスの普及および、利便性向上に繋がる場作りに貢献してまいります。



みらい長崎ココウォーク 期日前投票所 開設

広く若い世代にも投票所へ足を運んでもらおうと、みらい長崎ココウォークでは、県知事選(2月)および、参議院議員通常選挙(7月)の期日前投票所が開設されました。「買い物ついでに投票ができるので便利」との声も寄せられ、多くの方にご利用いただきました。



えぬたん号バスツアー開催

令和4年9月4日・12月10日の両日、(株)エヌタスと長崎自動車(株)の合同企画として「えぬたん号バスツアー」第1巻・第2巻を開催しました。これは、エヌタス公式キャラクター「えぬたん®」のフルラッピングバスに乗って、市内某所(行先は到着直前まで秘密)を巡るもので、各回抽選の結果約20名が参加。行先表示がツアー特別仕様になったえぬたん号の登場に、ツアー冒頭から大盛り上がりとなりました。「第1巻」は半日の行程でしたが、一般公開されていない営業所内の見学をはじめ、バスの洗車機体験・整備現場見学・運転席での記念撮影など、合同企画ならではの内容が盛り沢山!

そして期待高まる「第2巻」では、要望の多かった昼食もプラス。ツアー特典として、参加者全員にお渡ししたオリジナルエヌタスTカードを使って、ココウォークで各自自由にランチを楽しんで頂いた後、モーターサービス部の見学・南越バス停立ち寄り・出島見学など、更にパワーアップしました。両日共、いつもとは違った視点から長崎バスグループを身近に感じていただき、たいへん充実したイベントとなりました。今後も(株)エヌタスは、えぬたん号バスツアーを通じて地域の皆様と繋がり、新たな魅力を共有・発信できるよう活動してまいります。



えぬたん号バスツアーの様子

島原鉄道 子育て割引支援「SUKU×SUKU割」

島原鉄道(株)では子育てをされている方々を応援する、子育て応援割引「SUKU×SUKU割」を令和4年1月より開始しました。妊娠されている方、または1歳未満の乳児同伴の父母(どちらか1名)が対象となり、母子健康手帳の提示で鉄道普通運賃が半額となります。島原鉄道は、これからも子育て中の皆様を応援してまいります。



「SUKU×SUKU割」チラシ

五島自動車 地域交通の新たな拠点として

令和4年12月、旧木場営業所と整備工場を「坂の上営業所」として統合移転。効率的に運営を行うことが可能になりました。地域交通の新たな拠点として、今後も地域の足を守ってまいります。



The 100th Anniversary of Designation as Historical Site on Dejima

出島史跡指定100周年

出島は令和4年10月12日、国の史跡に指定されてからちょうど100周年を迎えました。

出島VOFは、長崎市が主催した企画展「出島和蘭商館跡史跡指定100周年 出島 —1922▶2022—」に合わせて、出島の変化を写真で振り返る写真展「出島の100年 写真とともに」を開催しました。国の史跡指定から100年の歩みをたどる今回の企画は、ご来場の皆様へ、写真を通して出島の魅力をお伝えできる良い機会となりました。

また、史跡指定100周年記念式典では、平成29年11月の出島表門橋架橋から今日に至るまで、5年にわたり「はしふき」を続けられたDEJIMA BASE様に感謝状と記念品を贈呈しました。出島表門橋の環境整備のみならず、出島全体の魅力発信にご尽力いただいていることへの感謝をお伝えしました。

これまでの100年を振り返るとともに、これからの100年も、ご来場の方のみならず、より多くの市民・県民の皆様へ、長崎が誇る出島の価値を発信してまいります。



国指定史跡 出島和蘭商館跡で開催された「長崎検番 in出島」



史跡指定100周年記念式典の様子



DEJIMA BASE様への感謝状贈呈



写真展「出島の100年 写真とともに」

長崎の伝統を守る「長崎検番」

長崎は鎖国時代、西欧との交流の窓口として、独自の文化を育み、魅力溢れる街として発展してきました。その文化の担い手として、郷土芸能を支えてきたのが長崎検番です。

昭和初期には最盛期を迎えた検番組織。数百名もの芸妓が活躍していましたが、その後、衰退し、存続の危機にあったことから、支援団体として長崎民芸協会が発足されました。長崎自動車(株)は、同協会の構成会員として、観光都市長崎の振興と地域経済の発展に寄与する支援活動を行っています。

長崎検番の芸妓衆は、日々稽古に励みながら、長崎の老舗料亭や、観光イベント等でその芸を披露しています。長崎自動車(株)を中心とする企業グループ「出島VOF」が指定管理を務める史跡「出島」では、「長崎検番 in 出島」と題し、長崎検番の芸妓衆による唄や踊りの披露、参加者による鐘、太鼓の体験など長崎の伝統芸能にふれるイベントを開催。お客様から「鎖国時代にタイムスリップしたようだ」とご好評をいただいています。

Community
地域社会

西洋音楽の歴史を語り継ぐ 長崎バス観光開発振興基金

16世紀中頃、南蛮貿易とともに我が国にもたらされた西洋音楽は、その後排斥され、西欧との窓口であった出島でのみ、商館員たちによって奏で続けられていました。

わが国で絶えることなく紡がれてきた西洋音楽の歴史を語り継ぐべく、出島が史跡指定100年を迎えた記念すべき年に、長崎バス観光開発振興基金の主催事業として「ラーク国際音楽祭長崎公演」を開催しました。

この他、長崎バス観光開発振興基金は、観光を通じて社会、経済、教育、文化、科学芸術の振興事業など、広く助成を行っています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS




100年に一度の変革の時代 新たな未来へこの街とともに歩む

昭和11年4月28日、社会全体が混沌とした時代にあった頃、
長崎自動車株式会社は誕生しました。

昭和、平成、令和と86年に及ぶ道のりを振り返れば、
私たちの原動力になってきたのは、
この街を支えともに歩む、力強い意志と覚悟でした。

100年に一度の変革を迎える長崎の街。

いつの時代も、この街にとって欠かせない企業でありたい。
それが私たちの願いであり使命です。

名もなき一日を走る。
長崎バス 

Safety and Security

安全・安心



運転者研修プログラムの更新

長崎バス安全教育センターでは設立以来、バス運行における総合的な質の向上を目指し、継続的な教育研修に取り組んでいます。令和4年7月からは、今までの各種研修を振り返るとともに、更に高めていくべく、より実践的な「安全運転総合研修会」にリニューアルしました。

また今回の研修から、視線動向を記録可能なアイマークレコーダーや車両の動揺を計測するGセンサー等、科学的機材を搭載した新訓練車を活用。運転に不可欠な「確認・判断・動作」における、癖や課題点を数値化することが可能になりました。今後も効果的な教育を目指して研究を重ね、安全性・快適性の追求を図ってまいります。



教習ソフト(視線動向・車両の揺れ・マイク音量などを同時に表示・記録)。

運転席後部のモニターでリアルタイムに確認が出来る他、データとして記録が可能。客観的データで記録し省みることで、運転者自身の癖(改善すべき点)を把握させることができます。より一層効果的かつ納得のいく、運転者指導に繋がれるようになりました。



アイマークレコーダー装着での模擬走行訓練



運行管理者係長研修の実施

長崎バス安全教育センターでは、運行管理者に対する研修を定期的に開催しています。令和4年に実施した係長を対象とした研修では、リスクに対する備えと同様に必要となる、クライシスマネジメント(非常事態時の対応)をテーマとして実施。組織を管理していく上で求められる、知識やスキルの向上を図りました。

このような研修を通じて、輸送の安全・サービス向上を推進できる人材の育成に努めています。

長崎バス安全教育センターを広く開放



長崎バス安全教育センターは、警察・消防機関等の訓練の場として利用いただいてきましたが、地域における交通安全運動推進の場として、もっと広く活用していただくため、令和4年より地域一般企業・団体もご利用可能になりました。

現在までに、「ヤマト運輸株式会社 長崎主管支店様による新人ドライバー実技訓練」、「長崎県交通局 育成・指導課様による新任運転士初期実技研修」にて、ご利用いただいております。この他、長崎バス安全教育センターでは、一般企業を対象とした安全運転講習会も開催し、社員教育に役立てていただいております。



島原鉄道 島鉄フェリー非常時対応訓練

島原鉄道(株)島鉄フェリーでは、「フェリーあまくさII」・「フェリーくちのつ」及び、口之津港・鬼池港において、非常事態に備えた様々な訓練・研修を実施しています。

悪天候時の迅速な判断・対応をはじめ「旅客避難誘導訓練(救命胴衣着用・誘導経路確認等)」「消火・防火訓練・非常脱出訓練」「伝達訓練」「大規模自然災害対応訓練」「運航安全管理研修会」など、お客様に安心して利用いただけるよう船員教育や操練に努めてまいります。



車両甲板 初期消火訓練

五島自動車・島原鉄道・長崎バス観光が優秀安全運転事業所として表彰されました

自動車安全運転センター主催の、「優秀安全運転事業所表彰」が執り行われました。長崎バスグループからは、五島自動車(株)がプラチナ賞、島原鉄道(株)と長崎バス観光(株)が金賞を受賞。職場全体で運転記録証明書を活用し、安全運転と交通事故防止に継続して取り組んでいる点が評価されました。

今後も安全運転を心がけ、交通事故防止に貢献してまいります。





環境にやさしいバスの導入

長崎自動車(株)では、令和4年12月、新型ハイブリッドバス10両を新たに導入しました。

エンジンとモーターを併用して走るハイブリッド車は、燃費性能に優れ、走行条件によっては、ハイブリッド以外の車両と比べて燃費が約25%向上します。経費節減はもとより、CO2削減の点においても環境に貢献しております。

このように長崎バスでは、大気環境の改善・地球温暖化防止に配慮した“環境にやさしいバス事業”を進めており、排出ガスが少ないクリーンなエンジンを搭載した車両(最新排出ガス規制適合車)に順次更新しております。

エコ運動の継続

長崎自動車(株)では、データ計測による燃料流量計に加え、新たに燃料消費体感装置(エコ運転教育機材)を制作・導入しました。シリンダー内の燃料の減少過程をリアルタイムで目視することができるようになり、体感型の教育が可能になりました。

またこの他、年2回実施しているエコ運動では、安全運転最優先を念頭に、燃料消費およびデジタコの好成績維持を目標とする、運動・指導を行っています。

これからも、私たちに出来るエコ活動を継続して実施してまいります。

アメニティバーでゴミ削減 長崎バスターミナルホテル

長崎バスターミナルホテルでは、環境へ配慮するため、従来客室に設置していたカミソリなどのアメニティ類をフロント横のアメニティバーにて展開。必要なものを必要な分だけお持ちいただくサービスに変更し、ゴミの削減に取り組んでいます。

また、お客様の快適な滞在に一役買えるように、ヘアブラシなどの一般的なアメニティに加えて、洗顔料や乳液、マウスウォッシュなどもアメニティバーに取り揃えました。あったら嬉しい一品として、多くのお客様にご好評をいただいております。

清掃活動

長崎バスグループ各社では、関係各所の清掃活動に積極的に取り組んでいます。

長崎自動車(株)の各営業所では、日々運行している路線の清掃活動を運転者自ら発案。バス停や路線沿いのごみ拾い、生い茂った草木の刈り取りなど、お客様が安全かつ快適にバスにご乗車いただけるように、日々環境を整えています。

島原鉄道(株)では、全国高校サッカー選手権に出場する国見高校を応援しようと、最寄り駅である多比良駅のサッカーモニュメントを清掃。全国制覇を目指して願掛けも行いました。

また、長崎バス商事(株)では、地域の皆様に気持ちよく過ごしていただけるように、店舗周りや付近の新地中華街入口辺りまで、毎日清掃活動を行っています。

Eco logy

環境活動



トピックス Topics 2022



しまてつ 体験プログラム

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、公立小学校の多くが修学旅行の行先を県外から県内に変更する動きが強まりました。そんな中、島原鉄道(株)では3年目となる「しまてつ体験プログラム」の販売を実施。これまでに延べ63校、約3,300名の小学生に参加いただきました。

体験プログラムの内容は、多比良駅から島原駅まで臨時列車に乗車し、途中日本一海に近い駅といわれる大三東駅で下車。絶景を堪能後、島原駅では乗車券にハサミを入れる改札体験をします。また、島原半島の成り立ちや島原鉄道の歴史を学ぶ動画を鑑賞し、クイズ大会を実施。最後に自分が作った塗り絵を缶バッジにする、缶バッジ作り体験を行い終了となります。

「缶バッジ作りが楽しかった」「島原鉄道に初めて乗った。大三東駅がきれいだった」と参加した小学生の皆さんには、大変喜んでいただきました。



大きい 「えぬたん®」 活動開始!

(株)エヌタスのサービス開始1周年を記念して誕生した、公式キャラクター「えぬたん®」。

令和4年7月、チャームポイントのN型の耳と+(プラス)の尻尾の可愛さはそのままに、ふさふさの毛並みが愛らしい大きいえぬたん®が誕生しました。

これまでは画面の中が主な活躍の場でしたが、そこから飛び出したえぬたん®は、交通安全の啓蒙活動をはじめ、各種キャンペーンの告知など広報大使として活動の幅を3次元に広げています。

雨には少し弱いですが、いろいろな人と触れ合いながら、地域の皆様に愛されるキャラクターを目指し精進します。これからもよろしくお願いたします。



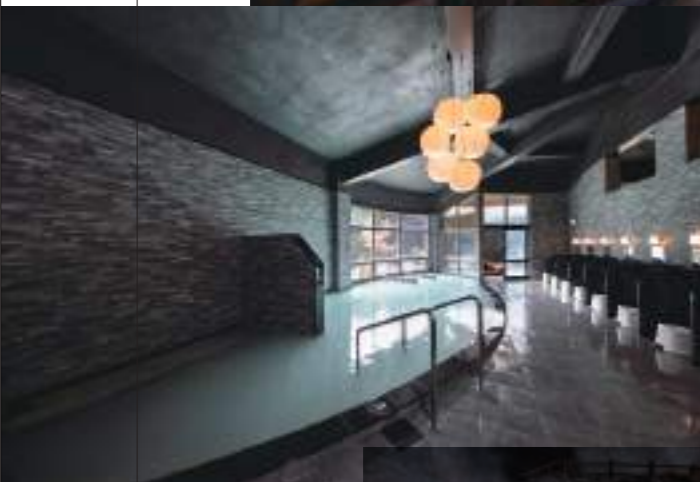
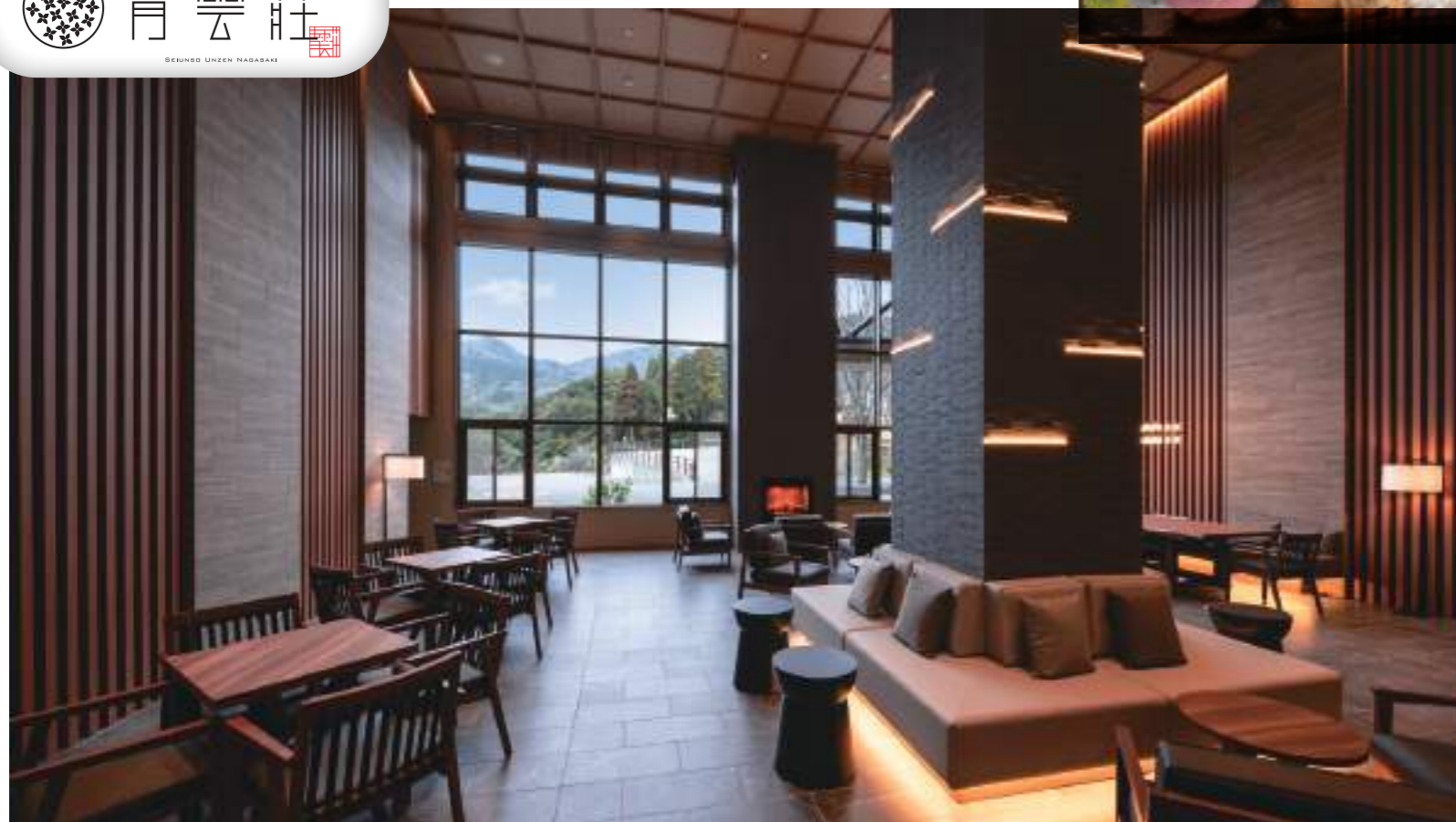
えぬたん®

雲仙温泉 青雲荘 営業再開

雲仙温泉 青雲荘は、令和3年8月13日に発生した豪雨に伴う土砂災害で、敷地内や1階の一部が大量の土砂に埋まり、翌日から半年間の休館を余儀なくされました。

その後、全面的な復旧・改装工事を行い、令和4年3月19日より営業を再開しました。災害を乗り越え、新たな歩みを始めるにあたり、青雲荘のロゴも生まれ変わり一新しました。

“変わらぬ憩いの空間”として再出発した青雲荘に、どうぞご期待ください。



桜の里営業所・ 時津営業所に 「統合型IC自販機」を設置

お客様へのサービス向上を目的として、「統合型IC自販機」を設置しました。窓口にはばずに、チャージと定期券の継続が可能になりました。



地域の魅力発信

みらい長崎ココウォーク 地元生産者・料理家との 連携イベント開催

みらい長崎ココウォークは、3Fフードコートに設置したオープンキッチンを活用し、地元生産者・料理家と共に“食べものを学び食する”様々なイベントを実施しております。今後も地域の方々と連携し、地元長崎の食の魅力を発信してまいります。



五感で味わう、一夜限りのレストラン“ココザストーリー”では生産者のこだわりや想いを聞きながら食事を楽しむことができる。



提供される料理は、実際にオープンキッチンで調理



ホテル日航ハウステンボス 地元企業と ワークショップを開催



ホテル日航ハウステンボスは、ホテル1階ティー&バーラウンジ ブルームを活用し、地域の魅力を発信するワークショップを開催いたしました。

令和4年8月6日・7日の2日間と10月23日の1日限定で「シルクスクリーン体験ワークショップ」を開催。夏休みの思い出づくりやハロウィンイベントとして、県外からお越しのご宿泊のお子様や、地元のお客様を中心に沢山の方々が参加されました。このイベントは、有限会社山崎マーク様(西海市)のコンセプトショップ「manto」とのタイアップ企画。通常、九州ではmantoでしか体験できません。今回は特別に、ホテル日航ハウステンボスにて開催することで、県外からのお客様に向けて地域の魅力を発信し、周辺地域に足を運んでいただくきっかけになればと企画いたしました。

今後も定期的にこのようなイベントを開催し、地域の魅力を発信してまいります。

Work with a Local Business

島原鉄道 地域コラボ商品

島原鉄道(株)では、沿線地域の魅力を全国の皆様に向けて発信していくため、地域の企業とコラボした企画商品の販売を行っております。

地域コラボ商品第1弾はお米と野菜のセット「赤字穀菜セット」、そして第2弾は生姜のシロップ「アカジンジャーシロップ 赤字deしょうが」をそれぞれ発売。令和4年4月には第3弾として、有明海産の海苔を使った味付けのり「のり海苔でござる」と、ふりかけ「かけすぎでござる」を発売しました。また第4弾として、9月には長崎県産天然ぶりの缶詰「ばぶりい缶(醤油味)」と「ばぶりい缶(オイル漬け)」を発売しました。

発売以降、様々なメディアに取り上げられ、多くのご注文をいただき、現在でも人気商品となっております。

島原半島の交流人口や島原鉄道の乗車率向上に繋げられるよう、引き続き地域色豊かな商品開発に取り組んでまいります。

赤字穀菜セット



アカジンジャーシロップ
赤字deしょうが

のり海苔でござると
かけすぎでござる



ばぶりい缶と
ばぶりい缶



TSUTAYA COCOアドバンス × スマイルマルシェ開催

令和4年12月11日、TSUTAYAココアドバンス愛野店の駐車場で、地域活性化と店舗認知度向上を目的としたイベント「第2回 TSUTAYA×スマイルマルシェ」を開催致しました。当日は寒い中ではありましたが、近隣店舗にもご協力いただきながら、人気のキッチンカーや雑貨販売、お楽しみ抽選会などを実施。多くのお客様にスマイルと温かさを届けることが出来ました。

今後も定期的な開催を予定しておりますので、是非お越しください。



ホテルオリジナル 「五島産近大マグロ プレミアムカレー」

長崎県水産加工振興祭
長崎水産加工
振興協会長賞受賞

五島自動車(株)が運営するカンパーナホテルと、レトルトカレーなど人気商品を手掛ける「ごと株式会社」様とのコラボによる限定商品「五島産近大マグロ プレミアムカレー」が販売中です。カンパーナホテル、GOTO TSUBAKI HOTEL、ごと株式会社、その他島内の一部土産店にて販売しております。

楽57号 日本地域情報コンテンツ大賞2022 「隈研吾特別賞 最優秀賞」受賞

全国各地のタウン誌やフリーペーパー、Web・動画媒体などを審査し、評価の高い媒体を表彰する「日本地域情報コンテンツ大賞2022」の表彰式が令和4年11月28日に開催され、(株)イズワークスが発行する季刊誌「楽」57号が隈研吾特別賞の最優秀賞を受賞いたしました。

季刊誌「楽」は、「長崎を知る、遊ぶ」をコンセプトに、長崎の歴史や文化などの情報を発信する大人向けのエンターテインメント誌です。57号では五島・福江島を中心に下五島に注目し、念仏踊りやパラモン風、黄島の暮らしなど五島列島の魅力を紹介しています。

審査員の隈研吾氏からは、「発信の仕方をさらに磨いて、世界と小さな場所を繋ぐという試みをごんばっていただきたい」と、ご講評をいただきました。これからもこの言葉を胸に、長崎の文化や歴史、人を後世に伝える、そして残していくという使命を持って取り組んでまいります。



後援：内閣府 / 経済産業省 / 農林水産省 / 観光庁
(公社)日本観光振興協会



長崎の魅力を伝える新しいガイドブック 楽旅長崎 発刊

(株)イズワークスが発行している季刊誌「楽」から、『長崎の魅力を伝える新しいガイドブック 楽旅長崎』を令和4年12月28日に発行いたしました。

これまで15年にわたり取材と撮影を重ねてきた「楽」の特集の中から、長崎の歴史と文化、その土地が持つ風土や食などを地域別に5つの章に分けて紹介しています。観光にもお土産にも使える新しいガイドブックを、長崎各地の美しい写真と共にのお楽しみください。



出島ミュージアムショップ 長崎バス商事

長崎バス商事(株)は、「出島和蘭商館跡」でお土産店「出島ミュージアムショップ」を営んでおります。

ご存じの通り、出島は、1641年にオランダ商館が置かれてから、西欧に開かれた窓口として歴史・学術上たいへん価値のある場所です。

ショップには、長崎県の銘菓をはじめ、出島関連の書籍、建物の壁を飾る「唐紙」柄のポストカードなど、出島にまつわるグッズを多数販売しています。

また、地元で窯を開き、長崎の良さを生かして造形から絵付けまで、ご夫婦で作製されている「陶彩 花と風」様と一緒に、当ショップでしか手に入らない出島オリジナルの作品を販売。オンリーワンの旅グッズを通して、地域への愛を発信しております。素敵なる旅の思い出をお持ち帰り頂けるように、スタッフ一同、笑顔と優しさをモットーとした“おもてなし”に努めてまいります。



数ある土産品の中でも、ラスク缶や出島館内の壁紙と同じ模様を施したポストカードなどが人気。



出島ミュージアムショップオリジナル陶器。箸置き・小皿・そば猪口など、出島ならではのデザインが1つ1つ手描きで描かれた美しい仕上がりに。



長崎バスグループ

長崎自動車株式会社	長崎バスターミナルホテル
長崎バス観光株式会社	みらい長崎ココウォーク
さいかい交通株式会社	株式会社COCOアドバンス
長崎バス商事株式会社	五島自動車株式会社
長崎バス建物総合管理株式会社	島原鉄道株式会社
長崎バス情報サービス株式会社	島鉄観光株式会社
長崎バスホテルズ株式会社	株式会社イズワークス
ホテル日航ハウステンボス	株式会社エスタス
雲仙温泉青雲荘	